

論文審査の要旨

報告番号	乙 第 2921 号	氏 名	田中 宏明
論文審査担当者	主査 教授 内田 直樹 副査 教授 高木 康 副査 教授 小風 暁		
<p>本論文はアルツハイマー病（AD）において双極性気質（BT）が BPSD の出現と関係していることを推測したものである。本論文は BT を有する AD 患者 65 名において、臨床背景、BT の有無、認知機能、BPSD の有無、脳 MRI を評価し、BPSD と BT との関係を検討した。BPSD(+)群で有意に BT(+)が多く、BT(+)群のみで BPSD(-)群において教育レベルが有意に高かった。BPSD は認知症に BT が併存する場合に出現しうると考えられ、気分安定薬が適していると考えられた。また、Cognitive reserve (CR) が AD の発病や認知機能低下を抑制していると考えられており、教育が重要な因子の一つと報告されている。よって、AD の発病や BT と関連した脳構造の脆弱さにより、脳の情報処理システムが障害され、CR が低下している患者に外界からの刺激が加わり、環境に合わない行動として BPSD が出現すると考えられた。</p> <p>本論文は新しい知見を得ており、学術上価値のある学位に値するものと判断した。</p> <p>論文題名 : Relationship with Bipolar Temperament and Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia in Alzheimer' s Disease (アルツハイマー病における双極性気質と認知症の行動障害および精神症状の関係)</p> <p>掲載雑誌名 : Brain Disorders & Therapy Volume 3 Issue 5 2014 年</p>			

(主査が記載、500 字以内)